

会 議 要 旨 録

会 議 名	第2回高齢者福祉計画等策定懇談会
開 催 日 時	平成29年11月21日（火） 13時30分開会
開 催 場 所	蕨市役所 4階 第2委員会室
出席者氏名 欠席者氏名	濱口会長、榛沢副会長、金子（雅）委員、金子（道）委員、釜田委員、 田本委員、小泉委員、松本委員、荒井委員、辻委員、海野委員 庄委員
事務局職員	関部長、岡田室長、津田室長補佐、野口係長、檜山係長、 ワイズマンコンサルティング 堀澤
傍 聴	0名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 計画素案について（資料1、2） (2) その他 4. 閉会
会議資料	資料1 第7期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（素案） 資料2 介護保険料について

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 議題 (1) 第1部総論について説明。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ P13前期高齢者・後期高齢者の推移について、平成37年が現状よりもグラフが下がっていますが、このデータはどこからのものですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民基本台帳の平成25年から29年度までのデータを基にして1歳ごとの変化率というものをとりまして、将来の人口を推計しています。これを平成40年くらいまでとっておりますが、そこから出した歳市の数字です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ P18アンケートの結果ですが、これはすでに市民に報告されているデータですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書という形で公開しております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気になったのは、地域活動等について何もしていない人が半数以上いますよね。ゆとりのある高齢者がいかに何もしていないかに着目して、老人の活性化を進めていこうと思っているので、このデータを私達が12月から始めようとしている会に活用したいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準となるデータを更新するとこれまでの傾向から出しているものなので、若干数値的なものは変更になる可能性があります。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実績値と推計値が書いてあるものはご判断いただけたらと思います。例えば推計値は最初の3年間くらいは非常に高い予測であっても、そのあと5年経つと予測の幅がでてくる。統計を出した時に変わっていくという数値もあると思うので、そういったものを参考にさせていただければと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ P17日常生活圏域の設定ですが、コーディネーターを増やしてきめ細やかなサービスという考え方はないのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限られた狭い市域ですので、地理的条件や社会資源などトータルで考えた時に引き続き1圏域でいくのがいいという考えです。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域は一つかもしれませんが、自治体の管理方法や福祉サービスの視点で区分けするのも必要かもしれません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域は1つとした場合でも包括が2つということで、コーディネーターを2人にすることはないですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・社協に委託して平成27年から一層・二層の機能を兼ねた生活支援コーディネーターを市に1人置いています。また委託先である社協が地区ごとに実施した座談会や支部活動を通して、コーディネーターには各地区の現状把握に努めてもらっています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P22「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が4.8%います。私達がマップというものを作って配布しているのですが、効果がないのかもしれませんが。周知の方法として、市ではパンフレットの作成は考えていないのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの周知を今後も引き続き行います。また、市内医療機関や介護保険事業所のリストを作成し窓口に置いている他、介護保険事業者連絡会が作成した事業所マップの配布を行っています。他団体に見られるような市が作成するマップについては費用面等も含め検討課題とさせていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私の住む町会では民生委員7人にお世話になっていますが、民生委員と町会で要支援者のピックアップを毎月行っていく必要があると思います。私ども駅前のマンション4つで1,000戸ありますが、どこのマンションにどれだけの支援者が必要かということに目を向けていかなければいけないと思います。我々のマンションの会議は年4回しかないが年10回やっているところもあります。民生委員から地域の困っていることを解決するための提案やこういうことをやるからぜひ協力してほしいといった情報の共有が重要。また、NTTが作成するタウンページには災害マップと介護事業のページが載っていますので、そういうところも活用できると思います。
事務局	<p>(1) 第2部各論第1編 高齢者福祉計画について説明。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お風呂についてですが、お風呂に入りたいがために介護保険申請をする方もみられます。また、オムツも川口市は申請すれば一律1,300円、戸田市は収入に応じて決まっていますが、蕨市だけが無料。タダだから貰ってどんどんたまって、人にあげてしまう。それなら財政的にも有料にした方がいいと思います。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いらなくなったが止め方が分からないという方もいますし、対象者数も増えていることを考えると、戸田市のような制限を設ける、もしくは川口市がやっているような負担金を徴収する方法も含めて検討します。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネに協力を要請し、チェックをお願いするのもいいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P52避難困難者情報の登録者は何人いますか。これは、避難行動要支援者登録とは別ですか。国が定めた要支援者が199人と聞きましたが少なすぎる。我々、地域のマンションでは、誰がその要支援者を見守るか、約束事を決めています。町会1,500戸の中で災害時の避難に困難があると手を挙げた人が8人いました。ところが、理事長が要支援者を訪問時、「どうしてあなたが情報を知っているのか、あなたに頼んだ覚えはない、私は蕨市に頼んだんですよ」となってしまったそうです。理事長が仕組みを説明して、トラブルにはなりませんでしたが、現状の運用だと扱いにくい。国は制度だけつくって、市町村は仕組みを取り入れてやったつもりでいるけれど、災害時に役に立つかという役立たないと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者は安全安心推進課の方にデータとして上げています。また、蕨市の他の部署も上げていまして、安全安心推進課で一括して取りまとめています。ただそのデータが消防本部とリンクしているのかまでは分かりませんので、ここにあります避難困難者情報と要支援者が同じか今の時点では分かりません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・活用していると断定していますので、「そうすべき」や「そのように取り組んでいきます」などの文言に変えた方がいいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者で、実は3か月前にお亡くなりになっていて、それも密葬でなさるから多分亡くなったんだろうということで、はっきりは分かりませんでした。私たちは支援をしよう準備をしているので、その方が実際お亡くなりになった時に連絡をいただいていたのですが、その場合どうするのかなど。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私の地域では10月に民生委員の方に75歳以上の方全員を訪問していただきますが、年4回のマンション会議の時に、民生委員の方と連絡をとって、どこのマンションで何人、地域では何人いますというデータは教えていただいています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者のデータは年1度更新していますが、確かにお亡くなりになってすぐの更新というわけではないので、そのへんは差ができていられるかもしれません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・町会では平成27年5月付で避難行動要支援者の情報をいただいています。

事務局	<p>すが、その後は見直しがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しはしています。要介護3以上の方という基準がありますので、要介護度が変わったり、蕨市から転居されたり、お亡くなりになった等ありますので、報告はしています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間の実績に基づいた計画値だと思いますが、後期高齢者の人口が多くなっていく中で、P18にもあるボランティアグループや町内会・自治会、そして収入のある仕事ですら45.2%は参加していないので、参加率を上げるというのは難しいことなんだと思います。いわき市で導入しているボランティアポイント事業のようなものは検討されないのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう取り組みがあることは認識していますが、現状では課題が多く、具体的な検討は行っていません。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・P18の資料を基にご質問をいただきましたが、スポーツや趣味活動を行っている人たちは、健康的な生活ができています。また、報酬があるとこれも動機になって活動できます。活動している間は元気に動いているわけですから、介護を受けることがなくなる。そうすると、介護を受ける時間が短くなるわけですから、それは将来の報酬を払ったとしても健康長寿の一役を担っていることになると思います。
事務局	<p>(1) 第2部各論第2編第1章 介護サービスの充実について説明。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P90夜間対応型訪問介護の施策の方向が空欄ですが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間対応型訪問介護事業所が蕨市内にないため、内容を検討中でこれから入れます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は市内にないということですから、近隣の事業所をご利用されていると思いますが、これについては方針を決めないといけませんね。特に夜間の随時対応に関しては、事業所の強固な基盤がないと24時間対応するのは小規模のところでは難しいと思います。大規模でサービスが充実しているところを利用ということになると思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P74訪問介護に関連して、調理、洗濯、掃除などに関してはヘルパーの研修を受けなくてもサービス提供できるようにしようとする動きがあると思うのですが、例えば、調理に関してヘルパーさんの手間をなくすために配食サービスを利用したところにインセンティブをあげるということを読んだことがあります。これについてどう思いますか。ヘルパーのなり手が少ないし、高齢化しているので、蕨市でもそういう育成をやらなくてははいけないと思いますが。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護の資格要件関係については、市がどうこうというところまでは話がきていません。国が基準を緩和し、それでいいということであれば、各事業所に展開していただいているという見解はできると思います。ヘルパーさんについては、ご提案がありました研修のようなものを市で開催するというのが難しいと思います。検討課題とは思いますが、よい案がすぐにはでてこない状況です。
事務局	<p>(1) 第2部各論第2編第2章 地域支援事業の充実について説明。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・蕨市の医師会が導入した情報通信ツールを利用すると書いてありますが、これは、蕨市がネットワークに直接入り込んでやれるような広域性の高いネットワークですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の企業が作っている医療介護関係者向けのコミュニケーションツールの1つを蕨戸田市医師会が使うと決め導入しています。市の職員も一メンバーとして利用していますが、市と医師会は運用ルールを多職種で決めていきたいと思っていて、そういうかたちでの支援、また、研修会を開きその為の話し合いの場を設けるなど利用を促進するなど、側面的な支援をさせていただいています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、介護サービス事業所など、サービスの担い手が共有できる情報のネットワークというのは必要だと思います。そして、どのように運用していくのか、どなたがアクセスできるのか、というルールづくりも必要だと思います。施策の方向としてはよいと思いますので、利用者、支援をするサービスの担い手の方々がこういった情報通信のツールにアクセスできてうまく運用する仕組みを構築していただきたいと思います。
事務局	<p>(1) 第2部各論第2編第3章 介護保険事業費の見込みについて説明。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの説明でご意見・ご質問等なければ、次の説明に移ります。
事務局	<p>(1) 第2部各論第3編 計画の推進について説明。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して、ご意見・ご質問等ありましたら、お願いします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P61敬老祝金を私もいただいておりますが、今後もどんどん対象者は増えると思います。これを市民税免除の方や年間300万歩達成した人など、積極的に健康増進に貢献した人を対象として支給資格を設けてはどうでしょうか。1日8000歩歩けば1年で300万歩になります。メーターは市で購入してチャレンジャーに配布したり、スマホやガラケーを持っている人はソフトが入っていますから、そのようなフォローしてはどうでしょうか。先ほどポイント制度という話もありました

委員	<p>が、健康でゆとりのある人は結構いますから、困っているところに使ったほうがいい。高齢者支援から子育て支援対策費などにまわすとか、本当に必要としているところへ財源を使ってほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料にはとてもしつぱなことが書いてあります。これが達成できたらすごいと思いますが、具体的な計画が一つもないように思います。先ほどから聞いていると、考えていますとか研究していますと言っていますが、具体的なことを早く市民におろしてほしいです。早く助けなければならない人たちを早く助けてほしいです。ヘルパーさんの調理について緊急と言っていましたので、それを第一優先にしてはどうでしょうか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> サービスを受けている人たちの調査については計画策定の為の実態調査を行っていますが、こんなサービスがあるといい、ここは足りない、ここはうまくいっていないなど、サービスの担い手の方々が持っている情報もあるといいと思います。事業所の調査は前の計画策定の際には行って、サービスの受け手側と担い手の両方からご意見をいただいていた。この計画案については、パブリックコメントの実施も予定されていますので、資料が皆さんに示されて、ご意見を承った上で修正し、最終的な計画になりますので、ご理解ください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料2 介護保険料について説明。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 表4 現行の近隣市町村保険料段階についてですが、蕨市の人口は74,000人、65歳以上17,000人、高齢化率23.1%ですが、高齢化率と介護保険料というのは相関するデータだと思いますが、蕨市の場合は高齢化率と介護保険料が他の市町村と比べてバランスがとれていません。そんなに不健康な人ばかりが蕨市に集まっているのか、介護を必要としている人がそんなに多いのか、そういうことを検討課題として入れていただきたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ここでお示した資料は、この計画に掲載されるものではないですが、委員や市民の皆さまの参考になればと配布させていただきました。ご意見のあった点についての資料は後程送付します。 <p>(2) その他について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月 パブリックコメント 2月 第3回懇談会開催予定 <p>4. 閉会</p>